

救急科

1. 診療科としての特色

- 東京都心に位置する利便の良い立地の救命救急センターです。
- 二次救急と三次救急を合わせた年間救急車受入れ実績数は約 8000 台です。
- 扱う内容の内訳は疾病頻度・緊急度・重症度の面からも幅広く、あらゆる領域の救急患者の初期診療を豊富に経験できます。
- 搬送される救急患者も外傷が多いこと、若年者が多いなど、都市型の救急医療を行っています。
- 病院前医療（ドクターカー）にも積極的に取り組んでいます。
- 一次・二次救命処置に必要な能力を習得できます。
- 外傷、急性腹症、血管緊急症の緊急手術も担当します。
- 吐血など上部消化管出血の緊急内視鏡止血術も担当します。
- 集中治療室に入室した患者の入院診療（約 3000 名）を行います。
- 集中治療医として必要な ICU での重症患者管理の能力を習得できます。
- 総合診療医に必要なプライマリ・ケアとホスピタリストとしての能力を習得できます。
- ER physician、Intensivist、Acute Care Surgeon など幅広い分野の専門性を習得することができます。
- 災害医療、航空医療にも積極的に取り組んでいます。
- 心肺蘇生、外傷などの救急初期診療、災害医療などの各種の off-the-job training を受講することができます。

2. 研修目標

一般目標

- 頻度の高い症候や疾患、病態に対する初期救急対応を行うことができる。
- 生命や機能的予後に係わる緊急を要する病態、疾患、外傷を認識し、臓器横断的にアセスメントを行うことができる。
- 生命や機能的予後に係わる緊急を要する病態、疾患、外傷に対して適切な初期評価・蘇生的治療・鑑別診断が行え、必要に応じて専門診療科へコンサルトすることができるマネジメント能力を身につける。

行動目標

《ER》

- 重症救急患者の初期評価と蘇生として、気道・呼吸・循環の異常を迅速に認知できる。
- 重症救急患者の初期評価と蘇生として、気道・呼吸・循環の異常に対して、必要に応じて適切な蘇生処置を行うことができる。
- 重症救急患者の初期評価と蘇生として、意識レベルを正しく評価し、切迫する脳ヘルニア徴候を迅速に認知できる。
- 二次救命処置（ACLS; Advanced Cardiovascular Life Support）が実施できる。
- 一次救命措置（BLS; Basic Life Support）を指導できる。

- 重症外傷に対する診療アルゴリズムを理解する。
- 重症外傷に対する Primary Survey と蘇生が適切に行える。
- 重症外傷に対する Secondary Survey が適切に行える。
- 重症外傷に対する本格的な治療の必要性を判断し、適切な診療科にコンサルトできる。
- ショックの病態を理解し、各種原因病態の鑑別と対応法を判断できる。
- 適切な気道確保の知識と技術を習得する。
- 循環の異常を適切に認知し、適切に静脈路確保や輸液、輸血、薬剤投与を実践できる。
- 敗血症の認識と初期蘇生を実践できる。
- 破傷風・ガス壊疽などの特殊感染症の予防と治療方針決定ができる。
- 急性中毒（向精神薬、農薬、有毒ガスなどに）に対する初期治療が実践できる。
- 虚血性心疾患、脳血管障害、急性腹症の初期評価と専門家へのコンサルトができる。
- 意識障害患者の鑑別診断と専門家へのコンサルトができる。
- 全身熱傷の初期治療、全身管理に参加する。
- 環境疾患（熱中症、偶発性低体温症）の病態を理解し、適切に初期治療を実践できる。
- 救急領域で用いられる各種重症度スコアを理解し、適切に算出できる。
- 感染症に対する標準予防策を理解し実践できる。
- 各種緊急検査の意義と目的を述べ、適切に実践できる。
- 創傷処置（創洗浄・debridement・縫合術）を適切にできる。

《ICU》

- 敗血症に対する集学的治療を理解する。
- 各種臓器不全、酸素代謝異常の病体と診断・治療について理解できる。
- 人工呼吸器や腎代替療法、補助循環などの適応と実践が適切に行える。
- 各種循環作動薬の薬理作用と使用法を理解し、適切に処方できる。
- 酸塩基平衡（特に代謝性アシドーシス）・電気質異常の補正が適切に行える。
- DIC の病態と診断・治療について理解できる。
- 栄養管理（高カロリー輸液・経管栄養）の理論と合併症を理解し、実践できる。
- 抗生剤療法の理論（院内感染と MRSA 感染予防を含む）を理解し、適切に使用できる。
- 脳死の病態を理解し、脳死判定の方法を理解する。

《その他》

- 病院前医療での他職種との連携を理解する。
- 多数傷病者に対する医療対応の原則を理解し、自分の役割を把握できる。
- トリアージの概念と手法を理解し、実践できる。